

(別紙2)

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームはるすのお家・阪南

作成日 平成 22年 3月 24日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	<災害対策> 消防署との連携で消防訓練を実施しており、災害用備蓄も準備されている。今後はさらに夜間の災害対策に向けて、入居者の救出手順や方法を消防署と相談し、職員全員が周知すること。	火災や地震、水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難出来る方法を全職員が身に付けるようにする。	特に夜間を想定した避難誘導訓練を行い、入居者の救出手順や方法を徹底する。	6カ月以内
2	20	<居心地良く過ごせる居室の配慮> 居室には利用者が持ち込んだタンス、整理タンス、鏡台、仏壇、人形、家族の写真、テレビ等のある落ち着いた部屋となっているが、一部の居室は家族の意向もあろうが、持ち込みの家具がほとんどなく、もの淋しい雰囲気となっている。	利用者や家族と相談し、家族の支援を得ながら、使い慣れた馴染みの物や生活用品を持ち込み、利用者が居心地良く過ごせる居室作りへの取り組みを行う。	壁には時計、絵画や写真などを掛け、少しでも生活感にある居室となるよう利用者や家族と相談しながら工夫していく。	6カ月以内
3	12	<重度化や終末期に向けた方針の共有と支援> 重度化や終末期に向けた方針は早い段階から本人や家族に確認しておくことは重要である。終末期の方針を共有出来ない入居者には話し合う機会を早く持つようにすること。	重度化した場合や、終末期のあり方について早い段階から本人、家族等と話し合い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、医療関係者との連携を密にし、支援していく。	新規の入居者は契約時に説明し、終末期の方針が決定していない入居者、家族と話し合いの機会を持ち方針を共有するようにする。	1年以内
4	3	<運営推進会議を活かした取り組み> 会議内容は充実しているが、開催回数が少ない。運営推進会議をホーム以外の会館を借りて開催しており、そのことで2カ月に1回開催するということに負担感を持っている。又、地域代表の参加が少ない。	現状、年2回程度の開催であるが、最低年4回以上に開催回数を増加させ、意見、要望をいただき、サービスの向上に活かす。	会館を借りるのではなく、ホームのリビングや横の和室で開催し、ホーム内の様子も見えていただきながら行う。又、地域代表の参加を得られるよう努力する。	1年以内
5	19	<居心地の良い共用空間づくり> ホーム内の共有の空間は居心地よく過ごせるよう工夫されているが、施設廻りの環境にも少し手を加えること。	入居者様、職員共に居心地の良い生活空間となるように環境づくりを行う。	職員が入居者様と一緒にホームの敷地内の前庭で草花を育てたり土いじりの機会をつくり季節感を感じていただくようにする。	6カ月以内

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。